



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～ クラブのテーマ ～

こころゆたかなロータリアン

～ 本年度会長方針 ～

原点に還って、奉仕を実践しよう。



2014-2015 R 会長メッセージ

第1137回例会 2014年10月22日 No.1106号

■ 会長時間



会長 渡部 邦昭

先週が休会でしたので、2週間振りの例会です。お変わりありませんか。さて、前回10月8日の例会がありましてから、本日までの2週間の間に、いろんな出来事がありました。マララ・ユスフザイ(17歳、パキスタン)がノーベル平和賞を受賞されました。「本とペンこそ最強の武器だ」「貧困、差別などの解決のために教育こそ唯一の解決策だ」という呼びかけには力強いものを感じます。女子教育を敵視し、学校を破壊する過激集団の存在すること自体が日本に住む我々には大変な驚きですが、マララさんの活動は、国際理解や親善、平和を推進するロータリーの目的にも合致するものですし、人道的援助、および教育的援助を重視しておりますロータリー財団の活動にもよい影響を与えるのではないかと期待しております。さる18日(土)と19日(日)に福山市において、金子克也ガバナーのリーダーシップの下で国際ロータリー2710地区の地区大会が開催されました。この地区大会には、国際ロータリー会長代理朱秋龍様をはじめ1000名を超える国内外からロータリアンおよびその関係者の方々の参加がありました。また、この大会において、当クラブは、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会からの感謝状、国際ロータリーから、会員増強拡大賞(最高の会員増加率と最高の会員維持率)という2つの表彰状を、それぞれいただきましたので、ご報告申し上げます。また、記念講演では、司葉子さん(女優・東京恵比寿ロータリークラブ会員)が「私とロータリー」と題して講演されました。講演よりも、プロローグで改めてすごい女優さんだったんだなあ、と実感させられました。黒澤明などすごい監督に見込まれた女優ということでした。代表作としては「紀ノ川」、「秋日和」、「乱れ雲」などの多数の映画に出演され、映画は150本、舞台は75本に出演されているとのこと。80歳になる今でも美しい方です。ロータリアンであることを改めて実感させられた地区大会でした。本日の卓話は、「挫折の力」と題して、広島北ロータリークラブの河本浩一会長にお話いただきます。河本浩一さまの職業分類は「作家」であります。興味をもって拝聴したいと思います。よろしくお願ひします。

〈河本浩一様の卓話後の感想について〉

河本様のお話をお聞きし、日本の原点(日本人、日本語)を教えられたような気がしました。「こんにちは」という言葉のうちに、日の本の国、日本の原点が隠されていたとは。貴重なお話を有難うございました。日本は明治以来、西洋化をめざし、グローバル化につき進もうとしています。日本の原点を見失わないよう、しっかり教育していかなくてはならないと痛感させられました。大切なことに気づかされました。有難うございました。

今回の例会(10月29日)

来賓卓話
グローバル・リサーチ・アソシエイツ 代表
林原 靖 様

次回の例会(11月5日)

来賓卓話
スペシャルオリンピックス日本広島 事務局長
岡田 幹子 様

出席報告

(例会運営委員会)

10月22日(水)出席者

会員総数	56名	ご来賓	1名
出席会員	41名	ご来客	1名
欠席会員	15名	ゲスト	0名

【例会】 毎週水曜日(12:30~13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】渡部 邦昭 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894
【幹事】賀谷 俊幸 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

ゲスト卓話(1/2)

広島北ロータリークラブ 会長
河本 浩一 様



ロータリーの例会の始まりの第一声は、「今日は」の掛け声で始まりますが、「今日は」の意味をご存知でしょうか。今では、「今日は」は「きのう」「きょう」の意味に使いますが、本来の意味が死語化しているようです。古来より、「日本は言霊の幸(さき)わう国」、つまり言葉の霊力が幸福をもたらす国として称えられてきました。そこで「今日は」の意味は？「今日は」を英語的に言い換えると「Good afternoon」=素敵な午後ですね、となりますが、日本語の「今日は」を英語に直訳すれば、「Today」となり、意味をなしません。そこで、「今日は」の意味を探ると、文豪漱石の小説「ぼっちゃん」の中に次のような件(くだり)があります。「そんなことをしたら今日様に申し訳ないがなもし」と。つまり今日様とはお天道様=太陽の意味で、古くは「太陽」の尊称だったのです。今でも太陽のことを高知の土佐では、「こんにちさん」と言います。ほかに新潟では「こんにっさん」と言い、岐阜では「こんにつつあま」と言っています。歴史を遡れば少し前までは、どこの地方でも太陽のことを「今日様」と呼んでいたのです。

つまり古来より先祖は、私たちの命の元が太陽だと崇めて大切にしてきました。実はここから「日の本」という言葉が生まれています。「日の本」の「の」は格助詞の「が」と同じで、「日が本」となり、一私たちの命は太陽が本(元)だ、ということとなります。それがやがて「日の本」の「の」が抜けて「日本」という国名になりました。

日本人の命の元、つまり太陽がシンボルとなり、日の丸が国旗となりました。だから当然ですが、日の丸の国旗が立っているところが、わが国土=領土を示しています。すると国旗というものは、掲げるとか掲げないとかの問題ではなく、理屈抜きで掲げなければ、領土には住めなくなります。

さて、ここで挨拶言葉「今日は」に戻りますが、意味は太陽でした。すると「やあ、太陽さん」と呼びかけただけでは意味がわかりません。だから次に続く言葉が略されているになります。どうやら日本人は言葉を短縮するのが得意な民族のようです。例えば、デジタルカメラを「デジカメ」とか、あらフォーティーを「あらフォー」など流行語大勝が毎年のように生まれるお国柄です。

つまり、もともとは「今日は」の次には「お元気ですか」が続き、これが一つの挨拶の基本形だったのです。だが今では「今日は」と単独で使われるようになりました。元気の元は、太陽をあらわし、気はエネルギーをあらわしています。だから私たち日本人が活着ているのは、太陽とそのエネルギーのお陰であり、私たちの命の源は、太陽だったこととなります。そこで「今日は、お元気ですか」とは、「やあ、太陽さん、太陽のように明るく、元気にしていますか」の意味となります。

ところで、わが国最古の書である「古事記」に、皇室の祖神であるアマテラスオオミカミ=太陽神の神話があります。太陽と日本人がいかに密接な関係にあったかが神話からも伺えます。

以前、テレビの人気番組に「刑事コロンボ」がありましたが、コロンボが「うちの日(カ)身(ミ)さんがね……」が口癖で一世を風靡しました。その「カミ」さんの謂れをご存知でしょうか？これは「カ」と「ミ」の言葉からなっています。つまり「カ」は古くは「カカ」といい、もっと古くは「カアカア」といいました。これは古代では、「太陽が燃える様」をあらわす擬態語だったのです。「ミ」=身体、つまり「太陽の身体」という意味になります。母親は子供を産み、何かと世話をしてくれことから母親を太陽に例え、「カミさん」と言ったのです。「うちのカアカ」というのも同じです。歌舞伎では、「カカさま」といいます。その「カ」が残って「おかあさん」となり、おかあさんの「か」は、太陽を意味しています。

では「お父さん」の言われをご存知でしょうか？それは「尊(とう)と(い)」という言葉から生まれたのです。石川県の一部では、今でも父親のことを「とう」と言います。母親の「カカさま」に対して父親を「トトさま」と言い、尊いの「と」が残って「お父さん」となったのです。

ところで、今では母親、父親を西洋風に「ママ・パパ」といいますが、「ママ」は「マンマ」からきており、万国共通の意味として「食べ物」のことをいいます。「パパ」は長い巻きタバコをパッパッと吸うことからパパというそうです。すると西洋では毎日、母親を「食べ物」と呼び、父親を「葉巻」と呼んでいることとなります。

ゲスト卓話(2/2)

そこで、日本語の「お母さん」「お父さん」には何と深い意味とその意味する重さに改めて感心します。日本では、「お母さん」を太陽と呼び、「お父さん」を太陽のように尊い人と呼んでいるのです。

最後に、「さようなら」の意味とは？英語では「Good -bye」と言いますが、本来は「God by」で「神があなたとともにあらんことを」の意味になります。同様に、フランス語では「Adieu(アデュー)」、スペイン語では「Adios(アディオス)」、イタリア語では「Addio(アディオ)」となり、すべの意味は、「神のご加護を願う」です。

ほかに別れの言葉として英語に、「See you again」があり、ご承知の通り「再び会いましょう」の意味です。フランス語では「Au(オ) revoir(ルヴォワール)」、中国語では「再見(ツアチェン)」、ドイツ語では「Auf(アウフ) Wiedersehen(ヴィダーゼーエーン)」・・・スペイン語、イタリア語、ロシア語すべて同じ「再び会いましょう」の意味です。

ところが「さようなら」は、諸外国の別れの言葉のいずれにも該当しません。さて、幕末から明治頃の正式な挨拶は:「今日は、お元気ですか」「はい、元気です」「さようなら(.....)、ご機嫌よう」これが挨拶の基本でした。つまり、意味するところは、「やあ、太陽さん！太陽のように明るく、元気になっていますか」「はい、太陽のように元気になっています」「さようなら、ご機嫌よう」と続いたのです。

それが時代の変化とともに挨拶の意味深い基本形が、略されて死語化してきました。先ず男子が「さようなら」、女子が「ご機嫌よう」と掛け合うように分け合い、今では、男女共に「さようなら」だけを言うようになりました。

美しい日本語が乱れる昨今、言霊の幸う国、一日本を取り戻したいものです。

ご清聴ありがとうございました。

地区大会資料

※【別紙】地区大会資料(全2ページ)



.....:SMILE BOX

堀江正憲 会員

国際ロータリー第2710地区大会に御出席の皆様、ご苦勞様でした。私は、広島市の救急当番でしたので、欠席しました。私達の地区の広島土砂災害の支援決議に御礼申し上げます。

堀江正憲 会員

本日の広島北ロータリークラブ 会長 河本浩一様の卓話楽しみにしておりました。宜しくお願いします。

山田和弘 会員

河本浩一様、本日は卓話をありがとうございます。26年前亡き父が広島北ロータリーの会長の時、幹事で支えて下さり、重ねて感謝申し上げます。

渡部邦昭 会員

広島北ロータリークラブ 会長 河本浩一様、宜しくお願い致します。

田中照章 会員

来年3月の北陸新幹線開業に伴い、この度金沢営業所を開設致しました。弊社にとっては、15ヶ所目の支店、営業所となります。今後共、御支援よろしくお願ひ致します。

森川和彦 会員

先日の地区大会を体調不良のため欠席させていただきました。申し訳ありません。1日休んだらよくなりましたが、皆様もご自愛下さい。

当日計	41,000円	累計	468,000円
------------	----------------	-----------	-----------------